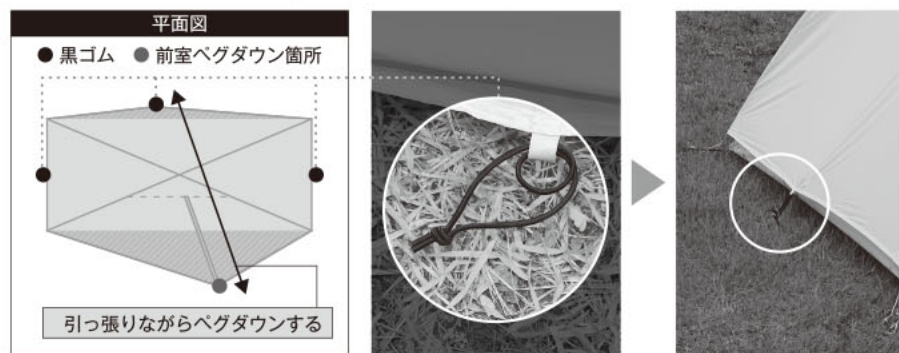


5 残りをペグダウンし、張網を張れば完成です

前室と3箇所にある黒ゴムをペグダウンしてください。
黒ゴムは2重にしてください。



張網4本は必ず張ってください。



設営のポイント

インナーの四隅のペグは必ず打ってください。

強風でポールが折れるのは、四隅をペグダウンしていないためテントの風上側が内側に風で押されてしまうためです。

「テント内に荷物を入れれば四隅はペグダウンしなくてもよい」という考えは間違いです。必ずペグダウンしてください。

就寝時に風が無くても、必ず張網は張ってください。



裏側のファスナーについて

ファスナーを開ければ外にアクセス出来ます。ちょっとした汚れ物などを仮置きするのに便利です。



使用前に必ず取扱説明書を読み、
一度組み立て付属品の不足や破損がないか確認してください。

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。
使用前に必ずお読み下さい。また必ず製品と共に保管して下さい。

警告

- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用して下さい。
- テント内で火気は絶対に使用しないで下さい。
- テント内部の照明は電池式のランタンを使用してください。ガスやガソリンのランタンは火災の原因になります。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないで下さい。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避して下さい。

注意

- 快適なキャンプの為に製品の破損や付属品の不足が無いことを確認してから使用して下さい。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用して下さい。
特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意下さい。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をして下さい。
- 説明書に従い全ての張り綱を確実に固定した状態でご使用下さい。
- 焚き火のそばなど火が当たる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所で使用しないで下さい。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は退色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意下さい。

メンテナンス、保管上の注意

- 使用時は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管して下さい。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地の劣化を早めます。
- ポールは中まで乾燥させてください。
- 海沿いで使用した場合は塩分を水で洗い流し乾燥させてください。
- 高温多湿の場所に保管すると生地の劣化をはやめます。風通しの良い直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 洗濯機で洗わないで下さい。
- 製品の破損、故障についてはご購入頂いた販売店までご相談下さい。

発売元

株式会社カンセキ

〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1
http://www.tent-mark.com/



おにぎりテント

ONIGIRI tent

TENT

TM-910190

取扱説明書



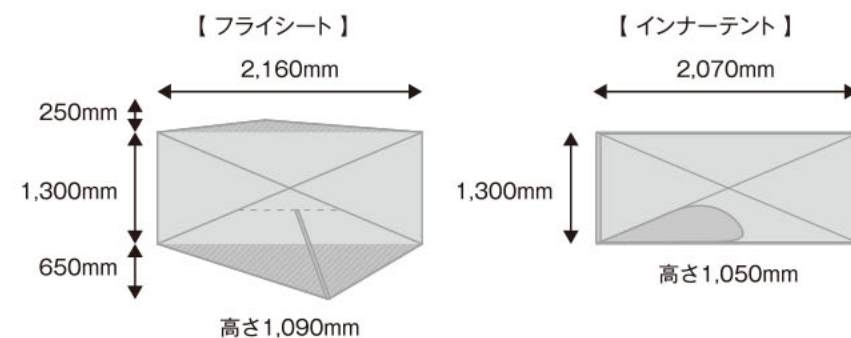
tent-Mark DESIGNS



山と食欲と私 Collaboration with tent-Mark DESIGNS

© 信濃川日出雄 / 新潮社

製品サイズ



SPEC

- 品番 / TM-910190
- 品名 / おにぎりテント
- 素材 / フライシート:リップストップナイロン30D(PUシリコンコーティング)、裏側ビグメントコーティング
インナーウォール:ポリエステルリップストップ20D
インナーフロア:リップストップナイロン30D(PUシリコンコーティング)
メッシュ:ポリエステル
- 耐水圧 / フライシート:1,500mm
インナーテント:1,500mm
- 収納サイズ / (約)450 × 140(直径)mm
- 組立サイズ / フライシート:(約)2,160 × 2,200 × 1,090(高)mm
インナーテント:(約)2,070 × 1,300 × 1,050(高)mm
- 重量 / 総重量:(約)1.85kg(ポール/ペグ/張り綱/収納ケース含む)
フライシート:(約)550g
インナー:(約)660g
ポール:385g
収納ケース:(約)85g
- 同梱物 / ポール×2・ペグ×13・張り綱×4・収納ケース×3

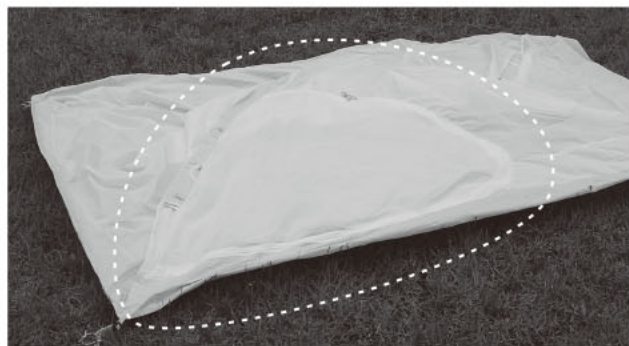


1 設営前の確認

- ・セット内容の確認をして不足や破損、異常がないか確認します。
- ・気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定します。

2 テントを広げます

大きなメッシュがある面が入り口です。



※風が強い場合は、風上の面にペグダウンして飛ばないようにしてください。

セット内容

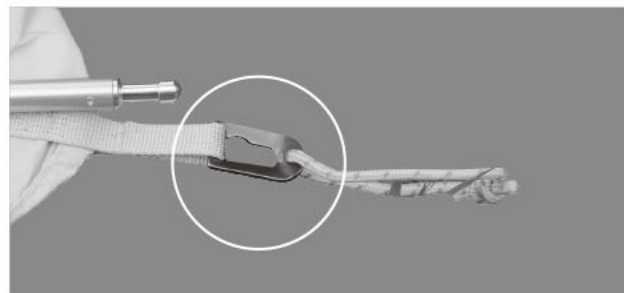
- | | |
|------------|--------------|
| □フライシート×1 | □張り綱×4 |
| □インナーテント×1 | □収納ケース×3 |
| □ポール×2 | □取扱説明書(本書)×1 |
| □ペグ×13 | |

3 ポールを組んでインナーを設営します。

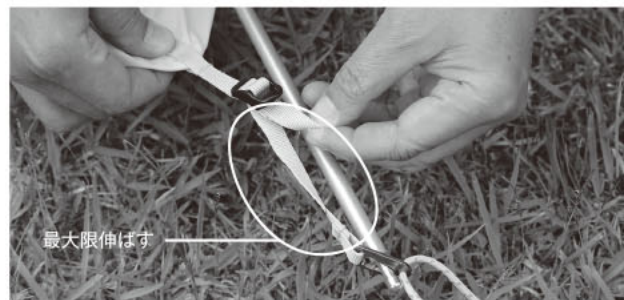
- 1 ポールを全て繋いだら、スリーブからポールを差し込みます。



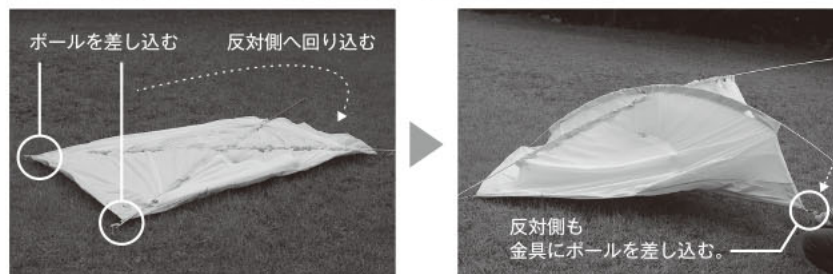
- 2 ポールを反対側まで通したら、この金具に差し込みます。



- 3 金具にある調整自在(2か所)は、最大限伸ばした状態で差し込んでください。



- 4 ポールを2本差し込んだら反対側に回り、写真の様に留め具をもってポールを押し込み同じく金具に差し込みます。



- 5 2本とも差し込んだら、2か所ある自在部分を引張りテンションをかけてください。インナーの設営が終了したら、四隅をペグダウンして固定してください。



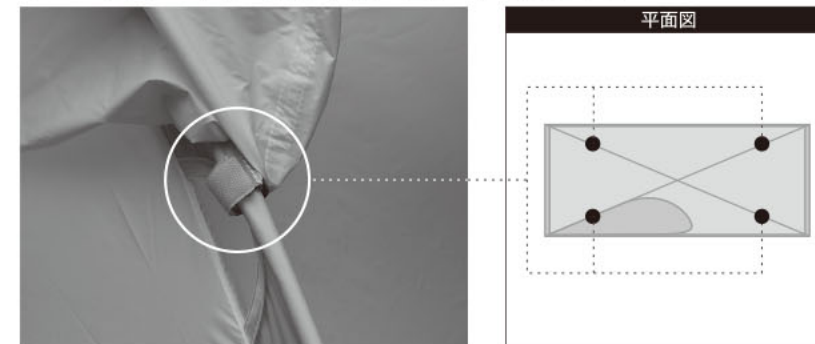
※ペグダウンする場合は必ずインナーがピンと張るように長方形になるのを意識しながら、シワの無いようペグダウンしてください。

4 フライシートをかけます

- 1 ファスナーのある面が入り口側(インナーメッシュ面)となります。



- 2 フライの裏側(テント側)に4箇所ベルクロがあります。ポールスリーブに写真の様に巻いてください。



※耐風対策で重要なポイントです。必ずセットしてください。

- 3 フライシート四隅にある紐の輪をポール先端に通し、紐を引きテンションをかけます。

